

# なみさざ

第112号

社会福祉法人 横の里  
いすみ学園

〔ミッション〕 私たちは、自閉症を中心とした知的障がい者の明るい未来を開くため、総力を上げて支援を行います。

〔ビジョン〕 豊かな自然の中で、社会に生きる障がい者の良きパートナー（隣人）として、利用者とともに歩み続けます。

## 新時代「令和」の幕開きに想う

理事長 岡部 一邦

新緑が目眩しい五月、新天皇のご即位により、「令和」の御代が幕開きとなりました。

学園の桜は今年も見事に咲き誇り平成の掉尾を飾ってくれました。

散り始めた桜を見上げて、松尾芭蕉の「様々なこと思ひ出す桜かな」をリフレインしながら、平成最後の春を過ぎました。

東日本大震災や福島原発事故など、様々の出来事が招来しましたが、上皇・上皇后の心の祈りに励まされ、数々の思い出を刻んできた平成も日本史の一コマとなりました。

いすみ学園の利用者の皆さん、保護者の皆様、職員、そして私も昭和・平成・令和と三つの時代を生きていくこととなりました。

中村草田男の「降る雪や明治は遠くなりにけり」の感懐を覚えますが、「令和」の御代が「平成」に続いて、

戦争とは無縁の平和で心豊かな時代となることを祈りながら、前向きに歩んでいきたいと思っております。

新時代の幕開きの年に、学園は開設35周年を迎えましたが、私はこの年を「高齢対策元年」としたいと決意しております。

一昨年6月、理事長に就任し学園の現況について勉強する中で、「利用者の高齢化に如何に対応していくか」が焦眉の急の課題ではないかと考えました。

そこで、前理事長の下で検討が進められてきた「高齢対策検討委員会」（以下委員会と表示）を再開して「こ

れから高齢期を迎える利用者皆さんの人生に最期まで寄り添うために、学園は何をしなければならぬのか、何が出来るのか」を真剣に検討することとしました。

学園は、昭和59年4月、自閉症を中心に知的障がい者の「豊かな人生」を支援することを目指して、自然に恵まれたこの「いすみ」の地に開設されました。

若く澁刺とした利用者との共生の中で、様々な実践を重ね学園内での生産活動に加えて、一般就労やグループ実習など、地域の皆様のご支援のもと活動を展開して参りました。

しかしながら、35年が経過する中で利用者の皆さんも平均50歳を超え、身体状況にも様々な変化が顕在化しております。

起居動作や移動、食事、排泄などの日常生活動作にも介護が必要な状態が拡大してきております。

そこで、委員会が既に実施した障害関連施設や高齢者施設の視察に基づく情報等を参考に熟考し、その再開に当たり以下のような検討課題を提案いたしました。

それは①日中活動のあり方②生活介護、医療支援のあり方③生活環境の整備（新棟建設）についてであります。

この三つの課題について、委員会のメンバーの皆さんで、鋭意検討・協議を重ねて参りましたが、今般その成果を「高齢者検討委員会検討報告書」と

して取り纏めることが出来ました。この間の委員の皆さんのご努力とご協力に感謝申し上げます。

しかし、この報告書はこれからの実践のための基本設計に過ぎませんので、これに添えてどのような処遇体制を構築していけるかは、私達のこれからの努力の如何にかかっております。

本年度事業の「特殊浴槽の整備事業」を皮切りに「新棟建設」を成し遂げ、高齢期を支える処遇体制を確立して、学園が「終の棲家」となつて、これからも利用者と共に歩み続けるために「令和元年」を学園の「高齢対策元年」として、その一步を踏み出す年にしたいと決意しております。

保護者の皆様をはじめ関係者の皆様には変わらぬご理解・ご支援をお願いいたします。

なお「検討委員会報告」の詳細につきましては、「さざなみ」次号より逐次ご報告させていただきますのでご留意しております。



# 三十一年度に向けて

施設長 秋本 泰司

最初に、この三月十六日に山口寛さんが急逝されました。

余りにも突然のことで驚きと悲しみの中でお別れすることになりました。心よりご冥福をお祈り致します。

さて五月一日には、新天皇の即位と令和時代が始まる。

「消費税元年」とも言われた平成時代を振り返ると、障がい者分野にも数多くの「光と影」を残してきた。

措置から利用契約制度になり、その後も度々行われた制度改革、三年ごとの報酬改定、日額制導入と加算措置への組み換え等は、働く者への不安と、法人には経営危機を招いてきた。

その他にも改正社会福祉法の成立、地域貢献の義務化等は、社会福祉法人に新たな負担を生じさせてきた。

又、少子化は福祉分野だけではないが、多くの法人が人材確保に苦しむ時代となった。

国は外国人材の活用、障がい者雇用率のアップなどを示しているが、障がい者支援には馴染むものでもなく、加えて就職協定解禁の動きも、求人難に拍車をかけている。

十月には、消費税が10%になり福祉

分野も潤うとの期待はあるが『明るい時代になった』と、誰しもが心から喜べる事を願わずにはられない。

そのような中、いすみ学園の三十一年度は「高齢化」と「人材確保」が引き続き注目の焦点となる。高齢化については、これまでの取り組みに検討委員会でのもめを加えていくことで光は見えてくる。

又、人材確保も、ここ数年取り組んでいる『福祉人材の種まき』を今年度も続けていく。

これは若者が、働く場を求めてわざわざ都会に出て行かなくても、地元にも安定した家庭を築ける職場がある。それが「福祉施設」で、そこには色んな魅力があり、社会的意義も高い仕事である。

この福祉施設の認知度を上げていけば、人材確保も少しはスムーズになるの思いを込めて取り組んでいる。

成果を出すには「続ける」ことであり、又、これは過疎化の進む地域への貢献活動でもある。



# 第三者評価の実施について②

課長補佐 井上 秀一

毎年行われている「福祉サービス第三者評価」の実施結果について、ご報告させていただきます。30年度は(株)日本生活介護という評価機関に調査をお願いしました。この「福祉サービス第三者評価」は、職員への文書調査と利用者からの聞き取り調査から成り、事業所のサービス内容を総合的に評価するものです。毎年違う事業所に調査をお願いしていますが、その理由は、事業所ごとに幅広い視点の中にもそれぞれの特徴をもつて評価してもらえないからです。

利用者への聞き取りは平成30年6月26日(火)に行われました。当日は3名の調査員が来園され、生活介護を受けている利用者全員の聞き取りが、個別面談の形で実施されました。(グループ実習の利用者も午後は帰園して聞き取りをうけました。)全員で60名が対象でしたが、調査員の方々が手際よく進めてくださり、全員への聞き取りが無事に終了しました。また、利用者の中には発語のない方も他者との関わりが難しい方もいますが、その人の動きであったり表情であったり、言葉以外の反応も含めて利用者の「声」を聞き取ってもらえました。利用者は自分の声

を聴いてもらえて嬉しかったことでしょう。一人一人の生々とした表情から、その気持ちが伝わってきました。とても丁寧に対応してくださったので、どの利用者も落ち着いて対面できたのだと思います。

総評としては、いすみ学園のサービスについて利用者中心の支援を評価していただきました。学園の支援をご理解いただけて、励みとなりました。そして、今後の課題である高齢化の問題や人材育成、記録等の充実といった部分には更なる改善を求められています。これは、我々も課題として掲げて取り組み始めていることですので、今回の評価をしっかりと受け止め、向き合っていかなければなりません。

受審に際しては、必要な書類を用意したり送付したりする事務的な準備や、会場の準備や当日に向けた資料作りなど、すべきことは多々ありますが、この調査に向けて資料を確認したり活動を振り返ったりすることで、日頃の業務を見つめ直すことが出来ているのだと思います。そして、このような機会があることに感謝して、今回の評価結果を参考にサービスの向上に努めている事業所でありたいと思います。

## 新年度を迎えて 各班から一言

### 〔室内班〕

1班はいすみ学園の入口（坂道の入口）に配置された電車の横にある作業棟で、受注作業や手芸等の活動をしています。



毎年思う事ですが、作業棟への行き返りは、いすみ学園の豊かな生活環境を感じる時間です。3月は坂道の桜が咲く春を心待ちにして、4月に入り満開の桜を眺め・桜吹雪を浴びながら坂道を歩きました。成長した桜の木を見る度に学園の歴史を感じるとともに、利用者支援の環境も学園内の桜に負け

ない位成長・充実したものでなければと身の引き締まる思いです。

昨年の春は、利用者も職員も入れ替え・増員があり、1年間の目標として落ち着いた活動支援を基本にしていくことを書かせていただいたのですが、同じメンバーで2年目を迎えました。利用者と所属職員を合わせると21人になる大所帯で、マイペースにワイワイ賑やかな毎日を送っている1班ですが、受注作業も、手芸も体育館でのウォーキングやリズム体操も、だいぶ全体に浸透してきました。今年度も、作業班で働き余暇や行事を楽しむ、豊かな暮らし・あたりまえの暮らしを支えていきます。

（支援主任 鈴木 典子）

### 〔外作業班〕

外作業A・B班が、学園全体の虚弱高齢化に伴う作業班再編成の一環の為に統合され一年が経過しました。昨今の今頃は我々職員もそして利用者の皆さんも、「本当に大丈夫?」「この先不安だな」が常に付きまとい、それの中にいる我々だけでなく、回りからもそう感じ取られていたのではと感じています。ですが、あの時期に外作業棟の前で満開に色づき咲き誇っていた桜を、こうしてまた目にする事が出来ました。これには、利用者さんのがんばり、そして若い職員を中心に、外作業班の全員が日に日に成長してくれた事が非常に大きいと感じています。今年

も皆で協働して日々汗を流して行きたいと思いで、どうぞ温かい目で見守って頂ければ幸いです。



さてこれからの外作業班の予定としては、通年を通して行っている野菜や花等の作物作り、そしていすみ市からの委託事業である広域農道の植栽が始まります。この植栽作業ですが、昨年から少し変わったことにお気づきでしょうか?これまで、夏は旧夷隅町の花である「コスモス」、春を県の花である「菜の花」を植栽して来ましたが、市民の方の意見を元に、市の担当者として工区を分けて作業を行うあかね園の職員の方々と、数回に渡る協議の末夏季を「百日草（ジニア）」に変更しました。ジニアの特徴としては一

番に、「厳しい夏の環境下に耐えられる」事があります。農道の花壇はご存知の通り、決して環境的に良いとは言えません。特に夏季の植物は多くの水を必要とする物が多く、水源を確保出来ない農道では、直ぐに枯れてしまいます。その環境を逆手に適し、綺麗な花を咲かせる事が出来るのがジニアです。まるで外作業班を体現するかの様な花を今年も植えますので、まだ見られていない方がいたら是非一度鑑賞にいらして下さい。東京オリンピックを来年に控え、隣町の一宮町はサーフィンの会場となり、多くの観光客がいすみの地にも降り立つと思います。これが外作業班からの「お・も・て・な・し」です。（支援主任 片岡 彰則）

### 〔食品加工班〕

今、この「さぎなみ」をお手にしている皆様は新しい時代“令和”を丁度迎えた頃でしょうか。この記念すべき今年度、我われ食品加工班も“変化”の年として気持ちを新たにスタートしました。先ず数年来の課題であった栄養成分表示作成作業も残り僅かで、完全移行をスムーズに迎えられる段階にあります。また、一部商品のパッケージやラベルの変更も現在検討中で今年度中の変更を予定しています。消費者の皆様は親しみやすく、使い易いことを目的に進めています。さらに十月には消費税が引き上げられ、原材料費等の値上げに伴う対応も考えなければ

なりません。  
このように食品販売に付随する業務が幾つもある年となりますが、何より利用者の皆様の成果を適切に社会へ届ける為であることを忘れずに取り組んでいきたいです。



さて班メンバーですが、職員一名の入れ替え以外変わりなく4月を迎えました。年齢は皆さん一つ重ねて年を取りましたが、気持ちは未だ元気で。日々作業を共にして、意欲や作業に対する楽しさが皆さん十分あることが伺えます。これら心の健康を大事にしながら、体の健康にも十分配慮し、今年度も美味しい商品を作っていきたいと思えます。(支援主任 長沼 毅)

【石けん班】

令和と言う新しい年号に変わることに当たり、石鹸班でも職員の入れ替わりがあり、1名が去り新たに2名が加わりました。2名の職員は新人職員です。利用者さんには変わりはありませんでした。職員5名、利用者9名でスタートしました。利用者の方にはさほど影響は見られません。いつものように作業をこなしています。新人職員たちも一緒になって楽しく作業をしています。



さて、石けんの方ですが、お客様の評判が良く、リピーターのお客さまも少しずつですが増えて来ています。桜の花の咲くこの季節は石けんが作りや

【万木工舎】

すいので、どんどん作っていきいたいと思います。自動的に利用者の皆さんにも仕事が増え、やりがいに繋がっていきと思っています。石けんの材料でもある植物油も近くの給食センターや特別支援学校などから順調に集まっています。いすみ学園も高齢虚弱の方々が年々増えていく中、健康維持の為に体を動かすことにも力を入れていかなければいけないと感じ、一日の作業の中でウォーキングの時間を設けて取り組んでいきます。健康で楽しい石鹸班となるようにしていきたいと思っています。(支援主任 三上 慎一郎)

介護に特化した「介護班」となり2年目。万木工舎の支援目標は「個別支援が必要な人に対し、精神的サポート(ケア)を中心に支援します。」「一人一人が持てる力を発揮し、創作活動を通し、仲間を意識する事を大切にします。」です。四月になり新年度がスタートしました。ここでは、先日の活動の様子を紹介させていただきます。

四月某日、いすみ学園周辺の桜見に出かけました。春の暖かな日差しを浴びて、芝生の広場をのんびりと散歩です。車椅子にゆられて、春の香りにを楽しんでるNさん。「キレイだね」と桜を指さす歩行器のKさん。職員と腕を組み歩くKさん。頭の中は勿論コヒー。バランスを崩しながらも元気に歩くYさん。そして女性陣は、職員

と手を繋ぎ、黙々と進むYさん。Fさんは車の中から桜を眺めます。さてそろそろ帰って昼食です。我々遊んではかりではありません。前身万木工舎からの万木(さをり)織りや、和紙、ハガキ作りなども細々とですが、コツコツと行っています。



利用者六名、職員七名、共に中高年ですが、皆で助け合い、楽しく元気な一年にしたいと思っています。

(支援主任 加茂 正和)



「グループ実習班」

昨年10月から、2班が合同になって大原工場内で原料開けや段ボール処理、運搬などを中心に活動を行っている。今年度も同様に原料の総数が50トンと莫大な量を1日のノルマとしての活動となってくる。また、日によっては様々な原料が来る中でその時に順応した動きが必要となり、それに応えていなくてはならない。



利用者も各自それぞれが色々な特徴を持ちながら社会参加している。高齢の方やバタバタした動きをしてしまう人、きやつきやつと騒がしくなる人などそれぞれが特徴を持っている。従業員や外人とも楽しく関わりを持ちながら

ら企業で働いている。一つの事を覚えるまでに時間はかかるが一度身に付ければ鬼に金棒。集中して意欲的に時間をフルに活躍できる力もそれぞれ兼ね備えている。それを大きな力として職員を含めて全体で動けばどの戦力にも負けることはない。今年も協力し合い頑張っていこう。

令和に代わり最初の年。これから様々なことがあるかもしれない。ただ今まで作り上げてきたみんなの信頼は(株)西川に十分伝わっている。双方が助け合い、話し合っていく事で全ては解決していく。

最後にいつも通り、笑顔が絶えない元気な姿で活躍し、学園内の利用者が感じ取れない社会の時間を思う存分感じながら、時には厳しい現実と向き合っ

って頑張っていこう。  
(支援主任 横田 武志)

『ふるさと納税』  
してみませんか？

いすみ市ふるさと納税のお礼品にいすみ学園の

商品が掲載されています！  
この機会に是非いかがですか？



いすみ学園大地の恵みセット

ふるさとチョイス A41 いすみ学園 で検索

「いすみ歌の祭典」

開催

去る平成31年2月10日(日)、いすみ学園体育館において『いすみ歌の祭典』が開催されました。今回も千葉日报社様にご後援をいただき、優勝トロフィーや賞状を提供していただきました。また、たきのえいじ先生からは、毎年ラジカセなどの賞品をいただいています。

今回は前日に電車が止まるほどの雪が降り、安全面への配慮から、保護者の面会日は中止となりました。とても残念でしたが、行事としては実施することが出来、各班が日頃の練習の成果を競いました。

第1部は作業班対抗戦。各班の持ち味を活かした選曲の他、衣装や小道具等の演出にも工夫が凝らされ会場は大いに盛り上がりました。

第2部は歌手の藤森美仔さんの歌謡ショー。皆さん、藤森さんの歌声にも素敵な衣装にも、うつとりとされてい

ました。  
審査をお願いしている、たきのえいじ先生や来賓の方々にはご臨席を賜り、励ましの言葉をいただきました。皆さんの温かい思いが行事を支え、楽しい時間を作りあげてくれました。どうも有難うございました。

(支援主任 鈴木 典子)



# 春のお楽しみ会

去る3月29日、午後より地域交流ホームにて「春のお楽しみ会」を開催しました。1月以降は、外出が規制される等何かとストレスの多い感染症予防期が続きました。それらを乗り越え、間もなく平成30年度を締めくくります。そんな利用者の皆さんに、「特別な春の1日」を楽しんでもらう事を目的に主任会主催で企画し、1カ月前から準備を進めて来しました。

さて、会場に入り着席した皆さん、何が始まるのかやや緊張気味の表情です。司会者の挨拶後「映像で見る学園の歴史」が始まりました。昭和59年開所後の東急電車の搬入風景や第1回の学園祭の様子がスクリーンに映され、皆さん釘付け。30年前の若さ一杯の○さんの姿に、会場中に笑い声が広がりました。その後は、待望のおやつタイム。レオックさんからケーキやプリン等が振る舞われました。次は1班、3班の職員2名での「ドリフ劇場」。懐かしいヒゲダンスと風船と吹矢のパフォーマンス。一部利用者も参加し、賑やかな楽しい内容でした。お次は石鹸班と加工班の4名の職員の「二人羽織り」。豪快な化粧とケーキ等の飲食大爆笑連続です。最後は万木工舎班とG実習班、5名による「シャネルズメドレー」。黒塗りにサングラス、白手袋で2曲を披露。多くの利用者が一緒

に踊ってくれました。  
以上、あつと言う間の2時間でした。  
会の目的は概ね達成かと思えます。  
(支援主任 加茂 正和)



## いすみ学園主要行事

- 4月14日(日) 面会日
- 5月3日(金) ゴールデンウィーク
- 5月6日(月) 一時帰宅
- 6月9日(日) 面会日
- 6月 ポーナス外出
- 6月 生き活きフェア
- (サマータイム)
- 7月13日(土) 面会日・夏祭り
- 7月～8月 夏の行事
- 8月10日(土) 一時帰宅
- 8月17日(土) 一時帰宅
- 9月7日(土) 夜間避難・召集訓練
- 9月15日(日) 面会日・お楽しみ会
- 9月 生き活きフェア
- 10月6日(日) 面会日
- 10月19日(土) 櫛の里祭
- 11月21日(木) 一時帰宅
- 11月24日(日) 一時帰宅
- 11月 生き活きフェア
- 12月8日(日) 面会日
- 12月 ボーナス外出
- 12月 クリスマス忘年会
- 12月 年末年始の一時帰宅
- 1月4日(土) 一時帰宅
- 2月9日(日) 面会日
- 2月 節分会
- 2月 歌の祭典
- 3月8日(日) 生き活き展
- 3月8日(日) 面会日

いすみ学園  
 後援会会員の御寄付  
 感謝録

平成30年4月から平成31年3月までの間に御寄付を賜りました「後援会会員」の皆様の御芳名を記載させて頂きます。有難うございました。紙面の都合上、敬称は略させて頂きます。

井波良子・五十嵐正一・石井千賀子・菊地一雄・小川清敏・関正明・田中三枝子・銅谷勝子・西山光江・原井清子・原井恵二・南澤恒男・土田修二・末清節子・五十嵐敏子・高田芳允・竹谷虎雄・小田嶋勉・稲葉伸子・飯田香・天野真弓・江幡誠・加林讓・斉藤晴夫・西村秀美・西村耕也・由井澤・大塚克行・久保喜平・渡部勇・斉藤嘉津代・会田操・赤嶺淳一・泉富夫・大石垣・勝俣洋子・北本三千代・志水嘉明・中村好秀・木造育代・生悦住満・小澤育圃・吉田みつ子・喜屋武隆一郎・中川美津江・市川洋子・落合邦行・牧千代子・広瀬千鶴子・三室玲子・窪田邦子・伊藤典子・常本一典・常本久美子・佐々木辰雄・山添和加・小倉昌代・北方政實・土方満喜子・会田哲也・会田正・植木俊二・竹田和

弘・武藤誠・会田洋・植木茂・北條忠男・名塚義英・岩崎陽子・岩崎アイ・中谷利勇・中谷利一・甘粕美保子・飯島せつ子・若月ヒロ子・川端佐知子・石黒雄幸・坂本ツネヨ・遠藤進・本名猛・森和子・森孝子・中野光夫・湯上宏子・花光智恵美・花光英和・高垣千代・森勝・中西鎮雄・亀山紀子・伊藤明男・大谷光弘・甲斐友美・桐生利行・中西美子・坊垣勝彦・横井葉子・山本和弘・杉山尚浩・鈴木翠・芳賀竹志・水戸部章・栗山尚久・横田ゆうこ・辻祐樹・中西宏仁・高橋昌也・中野達夫・山内千晶・高尾美幸・関口達重・高橋茂子・関口いせ・千葉ヨシ・愛川義雄・山内浩・小俣光弘・瀬田武久・山樹文子・斉藤恵子・高橋マリ・斉藤澄子・麻生実・川野和永・菊米興エ門・菊谷豊・石井莊司・石井恵美子・関芳弘・長田重孝・長田恵子・黒川信行・中村達・杉山恵子・星田健二・永野昌博・斉藤明美・榎下順子・福本聡・愛川久子・三室美千子・尾科弘臣・幸村幸代・中村文子・須田博子・木瀬三佐子・北澤友幸・高橋節子・池田博樹・守隨良子・清水美保子・岩瀬文江・伊藤信一郎・小峯賢・吉野いせ・土淵るり子・土淵精一・小泉眞理子・栗原小絵子・生方里江子・細谷雅子・日柄幸子・細谷光子・朝倉幸子・石田節子・誼高良子・田中一・重田真幸・清水稔子・佐々木幸雄・戸沢康弘・宿沢修・若林道子・矢澤千

里・永江加代子・高澤文子・松島弘美・清水潤二・高桑邦子・桐澤里津子・小野英子・木村奈津子・松戸裕子・川名教子・原口まり子・若林謙・大森もと子・沼志賀子・永江保幸・岩橋圭子・岩間美由紀・原田泰隆・若林和子・清水弘・清水千代子・清水彰・高梨寿美枝・清水裕・松浦葛枝・川本雅巳・清水從子・清水信之・斉藤誠司・猿渡まり子・星野参郎・高梨悟・卓初子・小林富次郎・松田美津子・永田豊・後藤健一・後藤洋子・木野慶治・清水祐一・岩澤廣元・池田瑞枝・金原市郎・鈴木たま子・後藤明子・平松金二・桐谷佳雄・益田英則・益田美代子・早川恵子・益田和也・今井顕・今堀亨子・赤坂徳子・赤坂和子・江尻尚樹・江尻恭仁子・江尻全機・吉澤恵美子・中村敬・中村ヤエ子・姫野保雄・近藤和義・上野梢・岩本菊子・林慎子・米丸啓子・米丸孝・津倉京子・石川隆三・石川洋子・辻村邦康・白川康子・白川均・和座勝朗・辻村純子・和座敬子・宮田茂・大原俊二・大原夏子・小野正夫・星芳・大原麻紀子・小泉千寿子・松中研一・松中紀子・松中耕二・小林章子・浅野勝伸・村野主税・権田孝・土井由起子・山之内玲子・伊藤恵子・篠原学・黒沢秀雄・月岡順子・石口真智子・古屋修・作間公子・杉本郷・木幡道子・今井和子・新藤千香子・三池朝子・西澤敦子・豊村幸夫・伊藤幸雄・並木紀子・山内八

洲・(株)ビーアイエー・神保電器(株)・高浦伸芳・塚原光江・實方悦子・松本設備工業(有)・鈴木光治・今野康子・(株)新清ハイツ・渋谷照子・濱野彰親・細井好・長良幸男・瀧島義光・原耕一・高山商店・金平輝子・斉藤実・久保田武子・北山静香・中森明子・西内恭子

後援会にご入会を！

いすみ学園の活動を支援するために後援会が結成され、積極的な活動を行っています。皆様方のご協力をお願いいたします。詳細は学園事務局へご照会ください。

寄附物品募集

いすみ学園では、個人・企業を問わず寄附物品を募集しています。櫃の里祭の「バザー用品」や利用者の方に使用する「オムツ(大人用)」「尿取りパット」「車椅子」などです。事前にご連絡を頂けると助かります。ご協力をお願いします。



連絡先 いすみ学園  
 ☎〇四七〇(八六) 三四一二

よろしくお願ひします



小高由希子

4月から  
お世話にな  
ります。小  
高由希子と  
申します。

士として働いていました。新しい環境  
で分からない事や慣れない事もたくさ  
んありますが、少しずつ着実に仕事を  
覚え、利用者様の人生のサポーターと  
なれるよう努力したいと思います。ど  
うぞよろしくお願ひいたします。



大木崇司

皆さんこ  
んには。  
大木崇司と  
申します。  
年齢は39歳  
で出身は神

奈川県です。趣味はゲームとスラック  
ライン：をやるうとしているところで  
す。前職は現金輸送をやっていました。  
早く皆さんと楽しく過ごしていけるよ  
う頑張っていきたいと思っています。  
宜しくお願ひします。

お疲れさまでした

片岡恵美さん、12年間本当にお疲れ  
さまでした。明るい恵美さんの笑い声  
が聞けなくなるのは寂しいですが、新  
たなスタートを応援しています。あり  
とうございました。

健康管理委員会の  
取り組み

私たち健康管理委員会は看護師、栄  
養士、支援スタッフ、レオック栄養士  
で運営しており利用者の健康を守り安  
全で豊かな生活を送れるようにそれぞ  
れの業務の専門性を活かしながら活動し  
ています。委員会掲げている目標は  
①健康を主とした安全な食事と栄養管  
理。②高齢・虚弱者への介護知識と支  
援技術の向上。③感染予防と対策の3  
本柱で構成されています。

特に最近の問題としては高齢・虚弱  
化に視点を置き個々に合った食事形態  
への配慮をレオック栄養士と協力し進  
めると共に支援員の介護技術の向上を  
図るためオムツ交換の実演、緊急時に  
備えた救急法(AEDを使用した)講  
習会に取り組んでいます。

又、健康の維持管理として年2回の  
健康診断や歯科健診を実施し健康診断  
に於いては通院・治療にも務めていま  
す。

時季に流行するインフルエンザ・ノ  
ロウイルスなどについては地域の情報  
収集・病院との連携を図り、感染を持  
ち込まない・広げない・持ち出さない  
をスローガンに置き、園内できる感染  
予防対策として日常の手洗いと消毒は、  
支援を積み重ねた事で手洗いに對して  
利用者の意識が高まっている事を確信  
しています。  
今後高齢化は進んでいきますが利

用者の安全・安心を第一考えた支援を  
心がけ共に歩んで生きたいと思ってい  
ます。  
(支援主任 田邊 清万)



最首デンタルクリニック全面協力の  
もと、4月4日に歯科健診を実施

感謝録

次の皆様方から、たくさんの御寄付  
を頂きました。厚く御礼申し上げます  
と共に、今後とも尚一層の御協力をお  
願ひ致します。(順不同 敬称略)

〔寄附物品〕

- ・新清ハイツ(株)・(株)新健食・(有)田辺印  
刷・(有)源氏商店・(株)新環境設計・今井  
寿美男・全経済関東東経済産業局支部・  
鶴岡美伶・渡辺電設・根本栄・島村紙  
店・千葉県ヤクルト販売(株)・ヨシダ  
(有)・三菱電機ビルテクノサービス(株)・  
松本浩世・たきのえいじ・千葉敬愛短  
期大学・市川千代・中村美佐子・海

編集後記

去る3月16日(土)万木工舎の山口寛さ  
んが逝去されました。突然の訃報に  
接し、本当に驚くばかりでした。もう  
あの笑顔にお会いできないかと思うと、  
悲しくなりません。心よりご冥福を  
お祈り申し上げます。

ただ私達はいつまでも悲しみに打ち  
ひしがれている訳にもいきません。時  
代は平成から、いよいよ「令和」にバ  
トンタッチされます。坂道の桜は今年  
も綺麗な花を咲かせて、春の訪れを感  
じさせてくれました。新しい時代に向  
けて、いすみ学園一同気持ちも新たに  
邁進して参ります。

(担当 高地優輔・屋代精二)



題字は丸浦 功さんです。